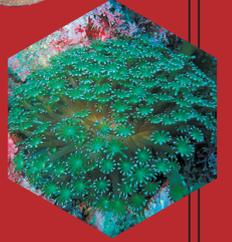


島根県の**絶滅**の
おそれのある
野生生物

SHIMANE RED DATA BOOK 2026



しまね
レッドデータブック
2026 **概要版**

島根県

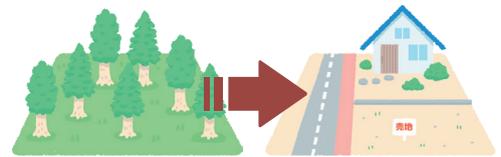
しまねレッドデータブックとは？

レッドデータブックとは、絶滅の危機に瀕している野生動植物の現状を訴え、個体や生息地などの保護・保全活動に結びつけようという目的で出版される重要な資料です。

全国レベルでは絶滅のおそれが生じていなくても、島根県という地域レベルでは絶滅の危機に瀕している場合があり、島根県での保護対策を考えるにあたっては、その地域の動植物がおかれている現状を明らかにしたうえで評価を行う必要があります。そこで作成したのが「しまねレッドデータブック」です。

しまねレッドデータブック 2026 掲載種

しまねレッドデータブックへの掲載種は過去 20 年間で約 1.5 倍に増えました。これは開発による生息・生育地の減少、里地・里山の荒廃、外来種の侵入、地球温暖化などが原因とされています。

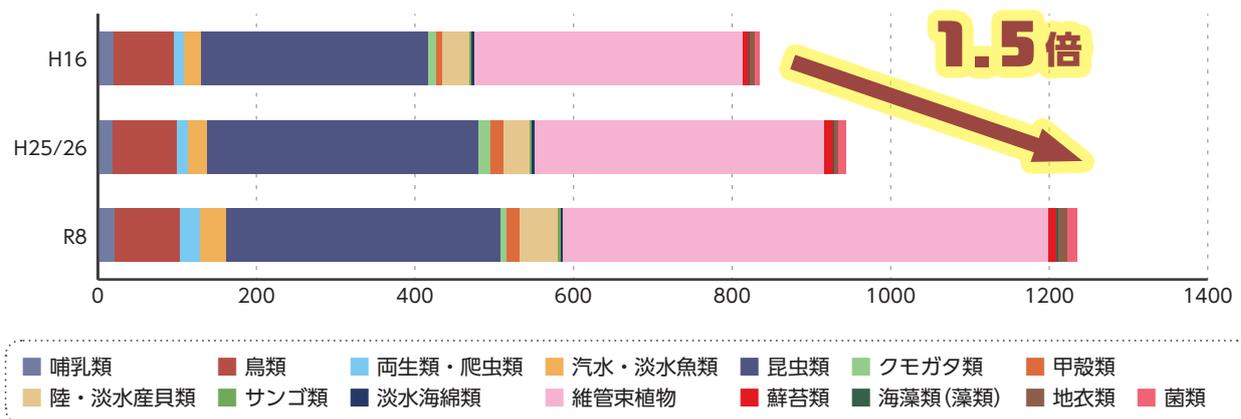


分類群	絶滅 野生絶滅	絶滅危惧			準絶滅 危惧	情報不足	合計
		絶滅危惧 I 類	絶滅危惧 II 類	小計			
哺乳類	4				9	8	21
鳥類	1	20	17	37	24	20	82
両生類・爬虫類		1	5	6	16	4	26
汽水・淡水魚類	1	8	8	16	12	3	32
昆虫類	4	37	48	85	116	142	347
クモガタ類			1	1	6		7
甲殻類		1	3	4	6	7	17
陸・淡水産貝類		8	21	29	10	8	47
サンゴ類				0	4		4
淡水海綿類				0	2	1	3
維管束植物	10	220	214	434	139	29	612
蘚苔類		1	2	3	6	2	11
海藻類(藻類)			2	2			2
地衣類		9	1	10	1		11
菌類		5		5	7	1	13
合計	20	310	322	632	358	225	1,235



外来種

しまねレッドデータブック掲載種数の推移



▶ 島根県で絶滅してしまった生きもの



トキ
(トキ科)

昭和の初期から中頃には、隠岐諸島全域に多数生息していたが、狩猟圧などにより急激に減少した。



ウスイロヒョウモンモドキ
(タテハチョウ科)

かつては東の原、男三瓶山頂、室の内など三瓶山のあちこちで成虫が見られたが、2000年には女三瓶山頂に残存するのみとなった。三瓶山は、国内分布の西限でもあったが2010年ごろには絶滅したと判断される。



ハマビシ
(ハマビシ科)

県内では1960年代に出雲部の砂質海岸で生育地が知られていたが、それ以降見られなくなり、絶滅している。

▶ 島根の地名がついている生きもの



イズモサンショウウオ
(サンショウウオ科) **準絶滅危惧 (NT)**

島根県に固有の種で、出雲地方に分布する。林縁にあって地下水が滲み出ている止水・静水域（ため池や側溝の場合もある。）および付近の林床に生息する。



ニシノシマギセル
(キセルガイ科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

隠岐諸島西ノ島の固有種であり島内の焼火山、高崎山、国賀海岸など自然豊かな環境に生息しているが、いづれの生息地も個体数が少なく絶滅が危惧される。



オキシヤクナゲ
(ツツジ科) **絶滅危惧 II 類 (VU)**

県内での分布は、隠岐諸島（隠岐の島町）でのみ確認されている。生育環境は、山地林内で、尾根筋の岩角地や斜面上部などである。

▶ 島根県の条例で採集等が禁止されている生きもの



ミナミアカヒレタビラ
(コイ科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

県内での生息地はきわめて少なく、局所的である。産卵母貝であるイシガイ科二枚貝の減少が顕著であり、近い将来絶滅が危惧される。



ダイコクコガネ
(コガネムシ科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

オスは、頭部に後方に反った1本の大きな角を持ち、夜行性で牛などの大型の草食獣の糞をエサとする。本県でも生息地は局限され、牧畜形態の変化によって絶滅が危惧される。



オニバス
(スイレン科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

昭和30年代までは松江城の堀にも群生していたが現在は産地が限定されており、除草剤並びにアメリカザリガニやウシガエルなど移入種による食害によって産地の環境が悪化している。



ヒメバイカモ
(キンポウゲ科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

湖沼、ため池、河川などに生育し、韓国の一部地域では水田で多産することが報告されているが、国内の水田ではほぼ絶滅状態。



カワラハンミョウ
(ハンミョウ科) **絶滅危惧 I 類 (CR+EN)**

広い砂質海岸に生息するハンミョウで、生息地は局所的で絶滅が危惧される。



デジタルブックで広がる可能性

デジタルブック化により、地域の皆さまが場所や時間を問わずアクセスできるようになりました。これまでの紙の冊子よりも情報量が増え、鮮明な写真で確認することができるので、環境保全活動や教育現場でより実用的で親しみやすいツールとしてご活用いただけます。

- スマートフォンやパソコンでも手軽に閲覧
- 索引等の種名をクリックすることで、目的の情報にすぐにアクセス可能
- 写真を多数掲載し、生物の特徴や生息・生育環境を詳しく紹介

目次例

ヒメニラ
ヒメヌマエビ
ヒメネグロケンモン
ヒメノキシノブ
ヒメバイカモ
ヒメハシゴシダ
ヒメハルゼミ



私たちにできること～みんなで守ろう！島根の豊かな自然～

自然に配慮した行動

自然の中で活動する際は、
動植物を傷つけたり、持ち帰ったり
しないようにしましょう。

責任のある行動

飼育しているペットは途中で野外に
放したりせず、最期まで責任を
持って世話しましょう。

学びを深める

レッドデータブックなどを通じて、
身近な生物や自然環境について
学びを深めましょう。

保全活動等への参加

近くで行われている
ボランティア活動にも
参加してみましょ。



問い合わせ先

島根県環境生活部 自然環境課 〒690-8501 松江市殿町1番地

☎ 0852-22-6516 📠 0852-26-2142

✉ shizen-kankyo@pref.shimane.lg.jp

しまねレッドデータブック2026

